

# 常盤工業株式会社新社屋 「TOKI PORT」 様



| 所在地 | 静岡県浜松市 | 竣工 | 2022年1月  
 | 用途 | 冷暖房  
 | 熱源 | 地下水熱  
 | 設備仕様 | 水冷式ヒートポンプチラー 輻射冷暖房  
 | 補助金 | 国交省サステナブル建築物等先導事業 (省CO<sub>2</sub>先導型)



外観

オフィスビル

常盤工業様の新社屋「TOKI PORT」では、パッシブ技術として省エネ外皮性能を採用し、アクティブ技術として、冬季の暖房は太陽熱、夏季の冷房は地下水を利用し、不足分の熱源として井水熱利用ヒートポンプチラーを採用されました。設計時において、一次エネルギー削減率は削減62%、創エネ13%で75%削減のNearly ZEBを目標としていたところ、竣工後は、気象データおよび消費電力量のデータの分析、運転管理により快適な空調環境は維持しつつ100%を超える削減率となり、

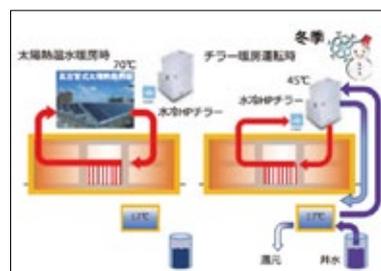
実績ベースで『ZEB』相当を達成されました。こちらの社屋では、導入した技術や運用実績を地域に公開されており、再生可能エネルギー熱の利用を実感されているとのことです。



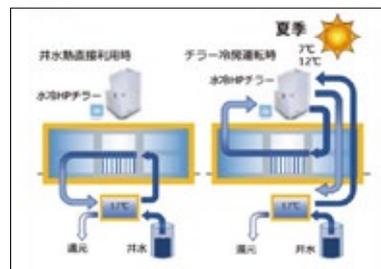
2022年実績 ZEB チャート



水冷式ヒートポンプチラー



システム図 (冬季)



システム図 (夏季)



## ヒートポンプ導入による効果

一次エネルギー削減  
 計画 62%  
 2022年実績 89%

創エネを含むエネルギー削減  
 計画 75% (NearlyZEB)  
 2022年実績 100.2% (NET ZEB)